

第48回 BACH スクリーンコンサート

2025. 9月

今月のテーマ アンドレ・リュウ

オランダの音楽家。ステージ上のこだわりは、「音楽は楽しむもの」という信念のもと、人々にクラシック音楽を楽しく・気軽に楽しめるように、各種ユニークな演出を試みながら指揮・演奏をするスタイルをとっている。演奏するメンバーの衣装も、曲のイメージに合わせて、全く別の服や民族衣装に着替えたり、観客が気軽に参加できる場面も用意され世界中で演奏活動を行い、欧米で爆発的な人気を誇っている。派手で大がかりな演出も特徴。音楽に国境はなく世界共通語であることをなによりも示している。

曲 目

クラシック曲

1、アイーダより凱旋行進曲

ヴェルディ作曲歌劇「アイーダ（Aida）」第二幕第二場で歌われる。

2、カヴァレリア ルシカーナ

マスカーニ作曲歌劇 「カヴァレリア・ルスティカーナ」 間奏曲

3、セカンドワルツ

ショスタコービッチの「舞台管弦楽のための組曲第1番」より「ワルツ第2番」。

通称「セカンド・ワルツ」

4、私のお父さん

プッチーニ作曲歌劇「ジャンニ・スキッキ」より

5、闘牛士の歌

ビゼー作曲の歌劇「カルメン」第2幕で歌われる

6、乾杯の歌

ヴェルディ作曲のオペラ「椿姫」第一幕の冒頭で歌われる

7、アランフィス協奏曲

ロドリーゴが作曲したギター協奏曲の第2楽章



映画音楽

- 8、映画ゴッドファーザーから「愛のテーマ」
- 9、映画ドクトル ジバゴから「ララのテーマ」
- 10、映画タイタニックから「タイム・トゥ・セイ・ユー・グッドバイ」

各国の愛唱曲

- 11、ベサメムーチョ（私にたくさんキスをして）
メキシコの作曲家コンスエロ・ベラスケスによって1940年に作曲
- 12、ラ・パロマ（鳩）
スペイン語圏の有名な楽曲。19世紀中頃にスペインのセバスティアン・イラディエルによって作曲
- 13、ワルチング マチルダ（当てもなくさまよい歩く）
オーストラリアの歌。「非公式の国歌」と表現されるほど同国を代表する曲として世界的に広く知られている。
- 14、グラナダ（ザクロ）
メキシコのアグスティン・ララが1932年に作曲した
- 15、夜空のトランペット
イタリアのトランペット奏者であるニニ・ロッソがエルモ・ブレッツァと共に作したもの
- 16、マイウェイ
この曲のオリジナルは、68年にフランスの人気シンガー、クロード・フランソワがリリースしたが、1969年にフランク・シナトラが歌い、大ヒットしたことで世界的に有名になった。
- 17、アメイジンググレイス
イギリスの牧師ジョン・ニュートン作詞による贊美歌。私のような者を救ってくれた神への深い感謝と感動を歌っています。